

令和元年度第1回医療安全外部監査委員会 結果概要

日 時：令和元年 10 月 30 日(水)17：00～19：00

場 所：国立研究開発法人国立がん研究センター管理棟 第6会議室

出席者：

監査委員	：千葉大学医学部附属病院	山本 修一	病院長
	順天堂大学医学部附属順天堂医院医療安全推進部	川崎 志保理	部長補佐
	さわやか法律事務所	田島 優子	弁護士
	NPO法人パンキャンジャパン	眞島 喜幸	理事長
	国立がん研究センター	荒井 保明	理事長特任補佐

開設者：国立がん研究センター 中釜 斉 理事長

対応者：西田俊朗病院長、島田診療副院長、片井均医療安全担当副院長、岩田敏感染制御室長、塩塚美歌感染制御室医師、久々湊由佳子院内感染管理者、室谷美々子感染管理認定看護師、宮北康二副医療安全管理室長、山口正和薬剤部長、関口昌利医療安全担当副薬剤部長、麻生智彦放射線技術部長、勝田昭一副放射線技術部長、井原完有放射線診断技術室長、石原敏裕副診断技術室長、川村公彦臨床検査技師長、宮越基副臨床検査技師長、成田龍一臨床工学技士、土師菜緒子医療安全管理者、藤野弥生医療安全担当副看護師長、遠藤文香医療安全担当看護師、田宮瑤子医療安全担当看護師、依田明久患者医療対話推進室長、杉本麻紀患者医療対話推進者、

1. 議事概要

千葉大学医学部附属病院 病院長 山本修一 新委員長の紹介のあと、平成30年度の医療安全に関する活動について、各担当から以下の議事に沿って説明した。

- 1) 平成30年度第2回医療安全外部監査委員会 指摘事項等に対する回答
- 2) 医療安全管理について
- 3) 医療機器安全管理について
- 4) 医薬品安全管理について
- 5) 感染管理について
- 6) 高難度新規医療技術等について

2. 指摘事項

以下の指摘があった。

- 1) 「医療安全管理部門組織図」「医療安全に関する組織・報告体制図」を修正する。
－医薬品の安全管理部門、医療機器の安全管理部門、臨床研究部門を医療安全全体の体制の中に書き込む
- 2) 患者誤認について医療安全管理室指標の形で詳細を明示する。
- 3) 令和元年度の医療事故等防止対策委員会議事録をすべて次回資料として提示する。
- 4) 医療法で定められた全職員参加講演会の研修資料を次回委員会の資料につける。
- 5) 平成30年度、令和元年度、に完成した事故調査委員会報告書全件を次回資料とする。

- －検討内容、対策内容がわかるサマリーを1件ごとに付ける。
- 6) 新規医療機器導入時の研修に関する規定を、医療機器安全管理規程等の中に明示する。
- 7) 医療機器安全に関する報告、医療機器管理部門と医療安全管理部との関係が見える組織図を作成する。
- 8) 院内感染、CRE（カルバペネム耐性腸内細菌科細菌）、等の水平感染の事例、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）のチェック状況を次回提示する。
 - －対策についてコメントする。できれば対策後の結果についても報告する。
 - －「CREのカルバペネマーゼの型が一緒だったので、直ちに介入した事例」を必ず含める。
 - －MRSAのPOT（PCR-based ORF Typing）法での全例チェックの結果
- 9) 高難度新規医療技術等評価委員会の議事内容が見える詳細な議事録を作成する。
 - －次回の委員会ではその結果を提示する。
- 10) 今後の組織発展、人材開発についてのビジョンを提示する。
- 11) 医療安全におけるPDCAサイクルを回す。
 - －PDCAサイクルに基づき今後どのような活動を医療安全管理部としてめざすのか。次回までに示す。
- 12) 高難度新規医療技術規程第7条3項第5号を修正する。
 - －「患者に対するインフォームド・コンセントの方法」の条文表記の修正
- 13) インフォームド・コンセント規程への患者反応に関する記載を追記する。
 - －第16条第1項に患者の反応について確認の上、カルテに記録することを追記する。

3. 次回の開催予定について

- ・2020年2月ないし3月頃に第2回を開催予定とする。

その後の調整で次回は、2020年3月30日(月)16:00～18:00 特別会議室 となった。

以 上